

2025年4月1日

一般社団法人キリスト教学校教育同盟
加盟小学校・中学校・高等学校 校長各位

一般社団法人キリスト教学校教育同盟
理事長 西原 廉太
教育者支援ネットワーク推進委員会
委員長 黒木 佐幸

第5回(2025年度)「教員リフレッシュ合宿」要項(お知らせ)

主の御名を賛美いたします。平素、キリスト教学校教育同盟の活動にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。さて、理事長諮問 教育者支援ネットワーク委員会では、第5回(2025年度)「教員リフレッシュ合宿」の開催を予定しています。

今、教員は、教科指導・生徒指導・進路指導・学級指導・課外指導、保護者対応・人間関係等、多くのことを抱え込み忙しく働いています。時代が、めまぐるしく変化していく中で、児童・生徒のこと、保護者のこと、人間関係そして自分のことで悩み考えている教員がどの学校でも少なくないのが実情です。教育者支援ネットワークでは、このようなことに苦勞されている教員の方々を参加対象にして、「教員リフレッシュ合宿」を開催することにしました。

参加者が自然豊かな場所でゆっくり過ごしなが、教育者支援ネットワークの委員、カウンセラーの方々、あるいは参加者同士で語り合い、寝食を共にする中で、参加者が自分自身を見直しつつ、回復と改善の糸口を見出せるようにする、そして教員として教育の業に生き生きと自信をもって励んでいけるようにしていく、これがこの教育者支援ネットワーク主催「教員リフレッシュ合宿」の目的です。

下記の要領で行います。是非多くの方のご参加をお待ち申し上げます。
なお、財政的な理由で参加(出張)が困難な場合は、「2025年度キリスト教学校教育振興助成」制度の申請をお勧めします(申請締切 6/14(土) 同盟ホームページ参照)。
助成申請受付フォーム <https://forms.gle/dsv9NEPTWYU4oz7c8>

2025年度教育者支援ネットワーク推進委員会

委員長 黒木 佐幸 (西南学院)
委員 久能木共子 (玉川聖学院)
委員 中田 路実 (金城学院)
委員 長谷川洋一 (大阪女学院)

記

1. 日 時 2025年8月18日(月)16時~20日(水)12時
2. 主 題 「安らぎの中で立ち止まり、自分をリフレッシュしよう」
3. 講師・チューター
1) 発題講師 水口 洋 (日本聾話学校理事長、玉川聖学院理事・教育相談顧問)
2) チューター 二宮 一美 (「くるみ心理オフィス」代表)
4. 実施場所 奈良県吉野郡天川村洞川 215 あたらしや旅館
<https://www.atarashiya.com/>
5. 参加条件
1) 体や心に少し疲れを感じておられる方
2) 合宿すべてのプログラムに参加できる方
6. 定 員 20名(申し込みは定員になり次第締め切ります。)
7. 参加費 30,000円(2泊6食・諸経費含む)
8. 申込期日 6月28日(土)必着
9. 問合せ先【キリスト教学校教育同盟】
所在地：〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 日本キリスト教会館 72号室
TEL:03-6233-8225 email: info@k-doumei.or.jp

10. プログラム(予定)

8月18日(月)	8月19日(火)
15:30～ 受付登録	7:00～ モーニングウオッチ
16:30～ 開会礼拝	早天礼拝
17:00～ オリエンテーション	8:00～ 朝 食
18:00～ タ 食	9:00～ セッション② 発題Ⅰ その後「振り返りと静まりのとき」 「分かちあいのとき」
19:00～ セッション① 「出会いのとき」	12:00～ 昼 食
20:30～ 自由時間、就寝	13:00～ セッション③ 発題Ⅱ その後「振り返りと静まりのとき」 及び自由時間
ワンコイン情報交換会 (参加自由 500円)	18:00～ タ 食
	19:00～セッション④ 「分かちあいのとき」
	21:00～ 自由時間、就寝
	ワンコイン情報交換会 (参加自由 500円)
	8月20日(水)
	7:00～ モーニングウオッチ
	7:30～ 朝 食
	8:30～ セッション⑤ 「まとめのとき」
	11:00～ 閉会礼拝
	11:30～ 昼食・解散

11. <実施場所までの交通>

往路

- ・近鉄南大阪線 大阪阿部野橋駅から特急約1時間
又は区間急行約1時間15分乗車、下市口駅下車
- ・下市口駅 から 奈良交通バス (1300円)乗車
下市口 14:20→洞川温泉15:38

帰路

- ・奈良交通バス (1300円)乗車
洞川温泉 12:25→下市口13:35

12. 申込み方法

- (1) URL 又は QR コードから入り、Google Forms に入力してください。
<https://forms.gle/BSWceExQtEi4iNZU7>
- (2) この開催要項以外、教育同盟 HP からもお申込みいただけます。
トップページ「教職員の方へ」→「同盟事務局」→「各集会案内・連絡事項」
- (3) 参加費は下記の銀行口座もしくは郵便振替で振り込んでください。
 - ・三菱 UFJ 銀行 高田馬場支店 (普通) 口座番号 1276085
口座名：一般社団法人キリスト教学校教育同盟 ジャ)キリストキョウガ ッコウキョウイクド ウメイ
 - ・ゆうちょ銀行 No.00190-7-602577
加入者名：一般社団法人キリスト教学校教育同盟
- (4) 6月28日(土) 期日厳守で参加申込み、並びに振込みをお願いいたします。
- (5) 他の研修会の参加費等と合算で振り込まれる場合は当事務局宛メールにて内訳をお知らせください。
- (6) 領収書は、銀行振込みの受領書をもって代えさせていただきます。
- (7) 7月4日(金)までに受付確認メールが未着の場合は事務局までご連絡ください。
- (8) 7月18日(金)までのキャンセルは参加費を返金いたします。
(振込手数料はご負担いただきます。)

※自然災害等のリスクによって中止とする場合があります。ご承知おきください。

2025年度教員リフレッシュ



エ
合
組
申
込
み
は
こ
ち
チ
ラ

【2024年度参加者の感想から】

○ 今回の教員リフレッシュ合宿に参加して、主題である「立ち止まって見つめなおそう」というテーマの通りに、自分の働き・人生・信仰についてじっくり思い巡らす時と場と仲間が与えられました。洞川温泉・あたらしや旅館の環境は、清流のせせらぎ、鳥の鳴き声、爽やかに吹く風、そして新しくあるいは久々に出会った仲間たちと語らう笑い声、歴史の中で積み重ねられた求道の重みに満ちた、魅力溢れるものでした。学校教員として慌ただしさの中で過ごす私たちですが、だからこそ、深呼吸してキリスト教学校の教員としての立ち方やあり方をしっかりと確認しながら歩みを進めることが大切なのだ、と改めて感じました。ご準備の全てに、出会いの全てに心から感謝いたします。次回も参加したいと素直に思える、恵みに満ちた合宿プログラムでした。自分が毎年参加する「ヘビー・リピーター」になりたい思いと、同僚や後輩たちにリフレッシュしてもらうために強く参加を薦めたい思いが闘っています。お世話になった皆様、本当にありがとうございました。

○ 奈良の洞川の自然に癒やされながら、ゆっくり立ち止まり、考えることが許された3日間でした。今回の合宿のあと、日常生活に戻り、自分の調子がいいと実感しています。それは、自分の声を聞き、自分の限界を受け入れられているからだと思います。合宿では、一人であることと、ともにあることの両立という話を水口先生がしてくださいました。私は秩序や何かを守るためになのか、自分の声を聞く前に周りに合わせようとしたり、仕事はこれだけやれなければいけないと自分を追い込んだりしていたなと感じました。そんなときこそ一度立ち止まり、自分が何を感じているのか、心のスペースを空け、風が通るようにすることが大切だと教わりました。周りに合わせることから一步引き、自分自身の主導権を自分に戻していくことこそがリフレッシュすることなのだと感じさせてくれた合宿でした。ありがとうございました。

○ 日常を離れて、時間の流れも、人との交わりもいつもと違う新鮮な環境で本当にリフレッシュできました。生徒を連れて引率として参加する合宿ではなく、自分が主役の能動的な機会であったと思います。全国各地から集まった先生たちと心を開きながら話し、いつもなら話さないようなことまで聞いてもらったり、共有したりして、何十年も前の青春時代に戻ったような感覚になりました。また各地に今回お会いできた先生たちのような素敵で仲間がいることに勇気ももらいました。委員の先生方が参加者とフラットな関係でプログラムに参加し、同じように過ごされていたのも印象的でした。再び日常に戻り、相変わらず慌ただしい毎日を送っていますが、この夏の楽しかった思い出を胸に頑張っています。まるで生徒のような感覚ですが、夏休みの過ごし方としては意義深いものであったと思います。

○ 初めて参加した「教員リフレッシュ合宿」は最初から最後まで私の予想を超えた展開で、とても心に深く残る時間となりました。普段あまり踏みとどまったことのない観点から様々な問いやテーマを投げかけていただき、自分の心の中にあるものを自分で整理していく中で、思いもよらないものを発見し、驚き、時に涙することもありました。また、それを分かち合わなければ、その後は忘却の彼方に行ってしまうようなことも、聴いてくださる方がいて、分かち合う中で話したり、感想を言ってもらったりすることで、心の中にしっかりと刻み込まれていきました。身体を解放する時間も、こういう方法もあるということ、実際に行なってみて、その効果を知る機会となりました。大阪女学院の長谷川先生が「教員が元気でなければ、良い教育を生徒にすることはできない。先生方が元気になって学校に戻り、良い教育をしてもらえるように、この合宿はある。」というお言葉に、今でも励まされています。学校に戻ってすぐ、三者面談が始まりました。いつも緊張しますが、今回は緊張だけでなく、お話を聴くのが楽しみな面談となりました。保護者の方から「先生の話を聞こうとする姿勢がとてもいい。」と言われて、驚きましたが、この傾聴力は「教員リフレッシュ合宿」で養われた成果の一つだと感謝しております。

以上